



霜  
天  
に  
満  
つ

月  
落  
ち  
烏  
啼  
い  
て

The moon has fallen,  
crows are cawing,  
and the frosty sky is full.



For Adult Only

Circle : chimere/marie

Iori Miyamoto

Shosetsu Yui

微小特異点  
X  
X  
X

はッ

はッ

はッ

はッ

はッ

…まさか  
サーヴァントの  
敵襲に合うとは…

カルデア所属  
サーヴァント  
宮本伊織  
由井正雪

現地遭難  
敵襲により退避



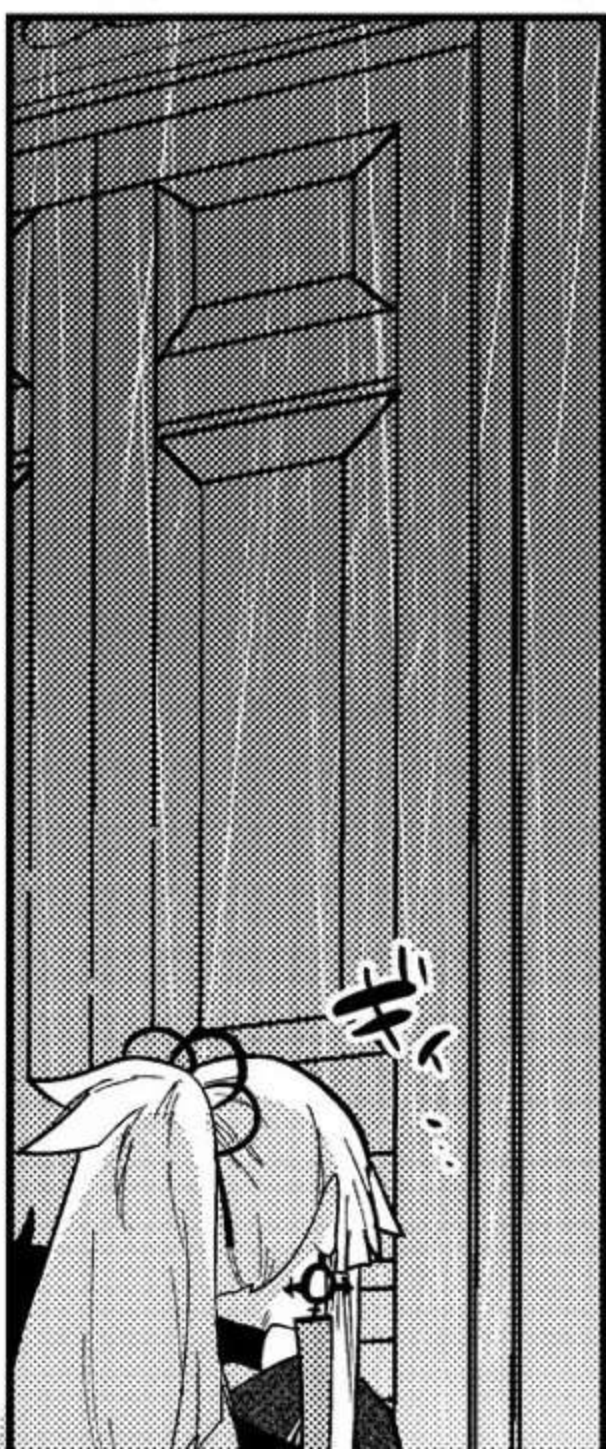




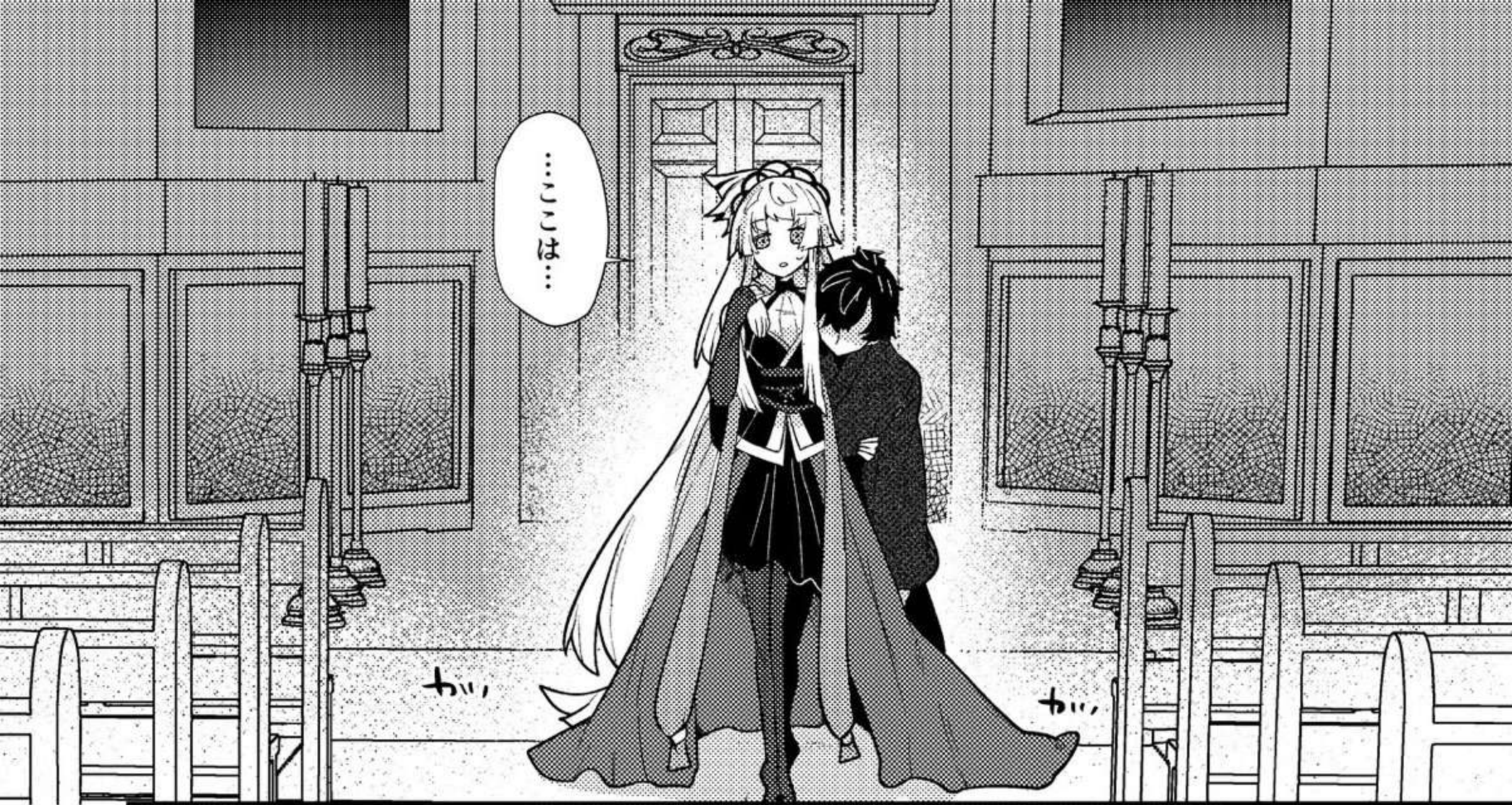
何処か  
手当をする  
場所は…



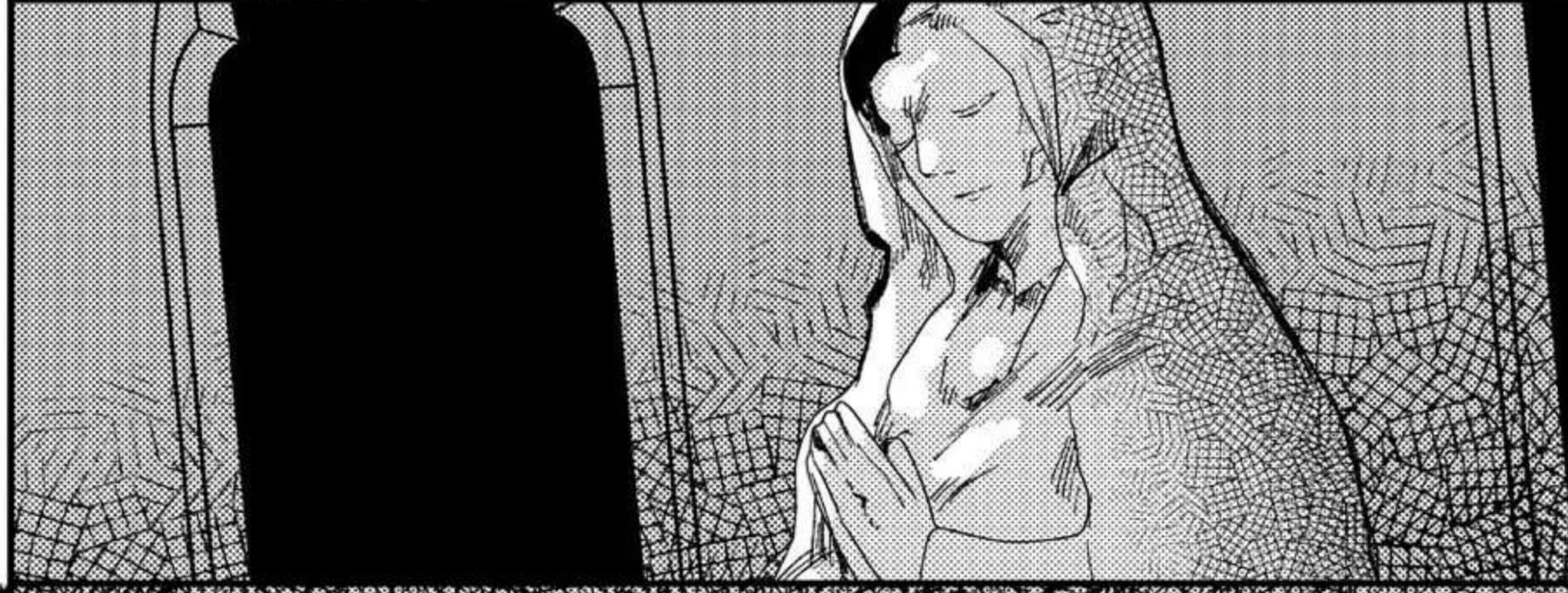
…あそこなら  
雨風を凌げる



伊織殿  
もう少しの  
辛抱だ



...うんうん...



...もしや...  
キリシタンの...





：良かった  
傷は塞がった



私の魔力を  
与えるしか：



だが：  
魔力の流出が  
著しい

このままでは  
現界を保てない





…何をする  
つもりだ  
正雪

伊織殿  
私は魔力を  
与えようと…



貴殿を  
傷つけてまで  
生き残えたくない

それならば  
俺は自ら  
霊核を砕く



…すまぬ  
貴殿は  
望まぬだろうが

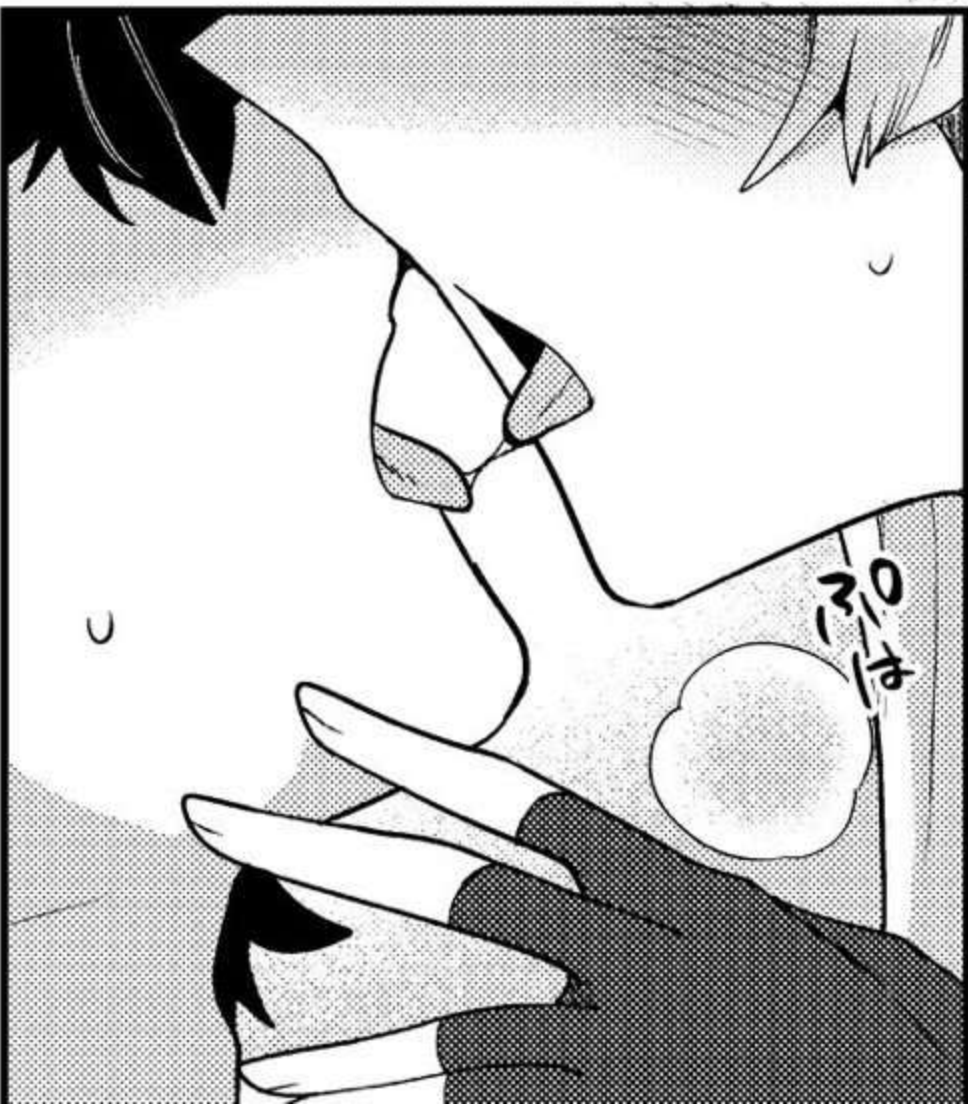
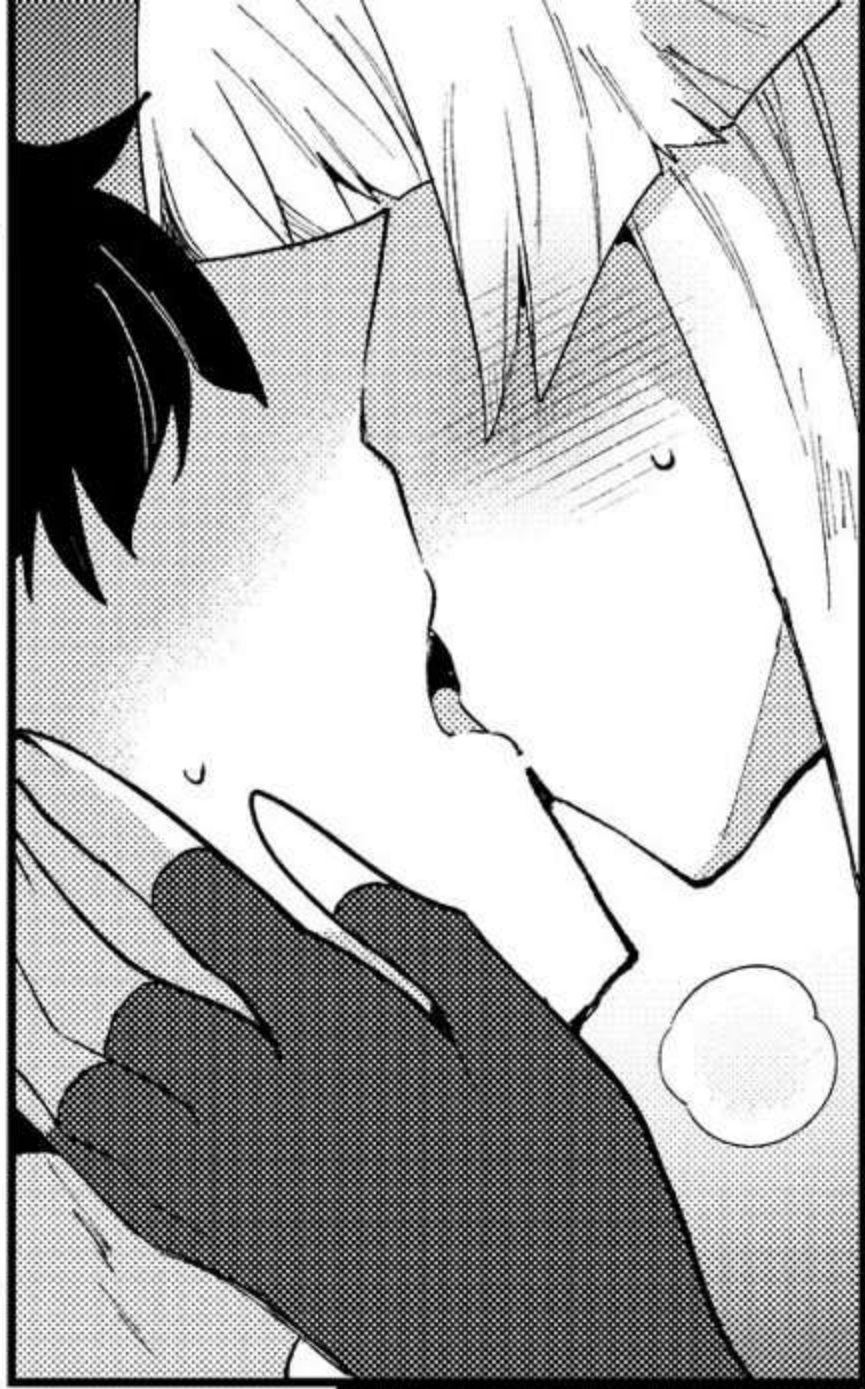


ならば  
傷つかぬ  
方法で



…分かった







：伊織殿  
聞いてくれるか



：だが  
足りぬ



こちらでも  
魔力は  
渡せているが



血液以外と  
なると  
方法は  
あとひとつ



：貴殿が  
傷つく方法か

それを今から  
行いたい



だいや…

貴殿に  
無理を強いる



貴殿が  
快復するには  
魔力が足りぬ

そこで私のを  
渡したいが…

口吸いでは  
追いつかぬ





そのままでは  
痛みを伴う

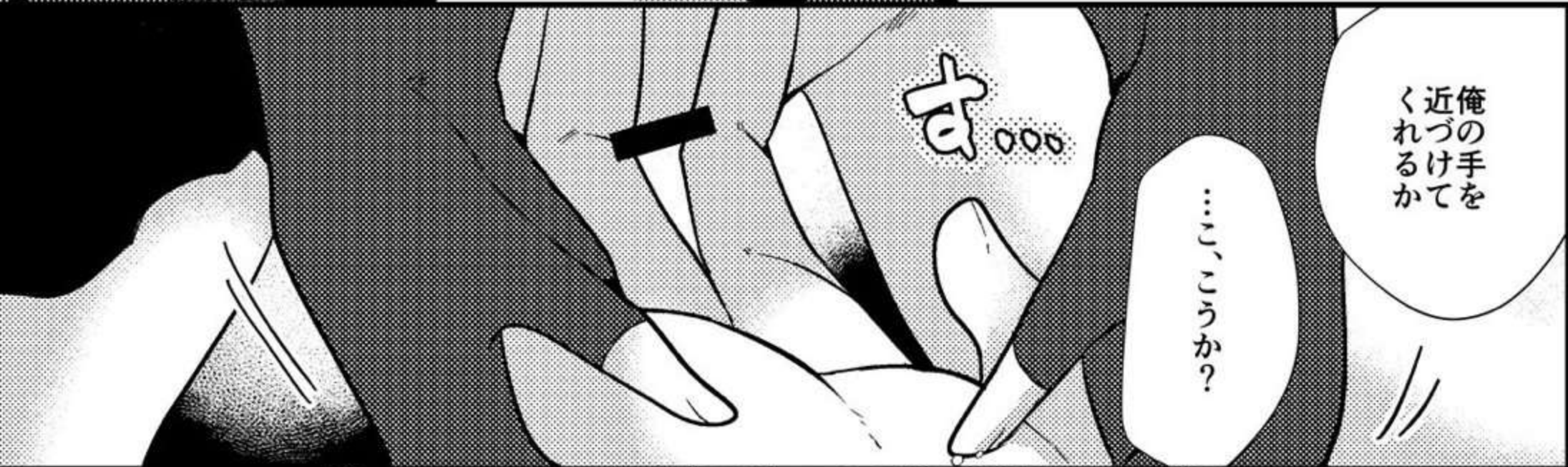
わ、分かった  
それしから  
無いのなら  
提案は飲もう

…だが、まさか  
そのまま  
挿入れる  
つもりか

…慣らさねば  
辛いのは貴殿だ

む

?  
方法は  
そうであろう



俺の手を  
近づけるか

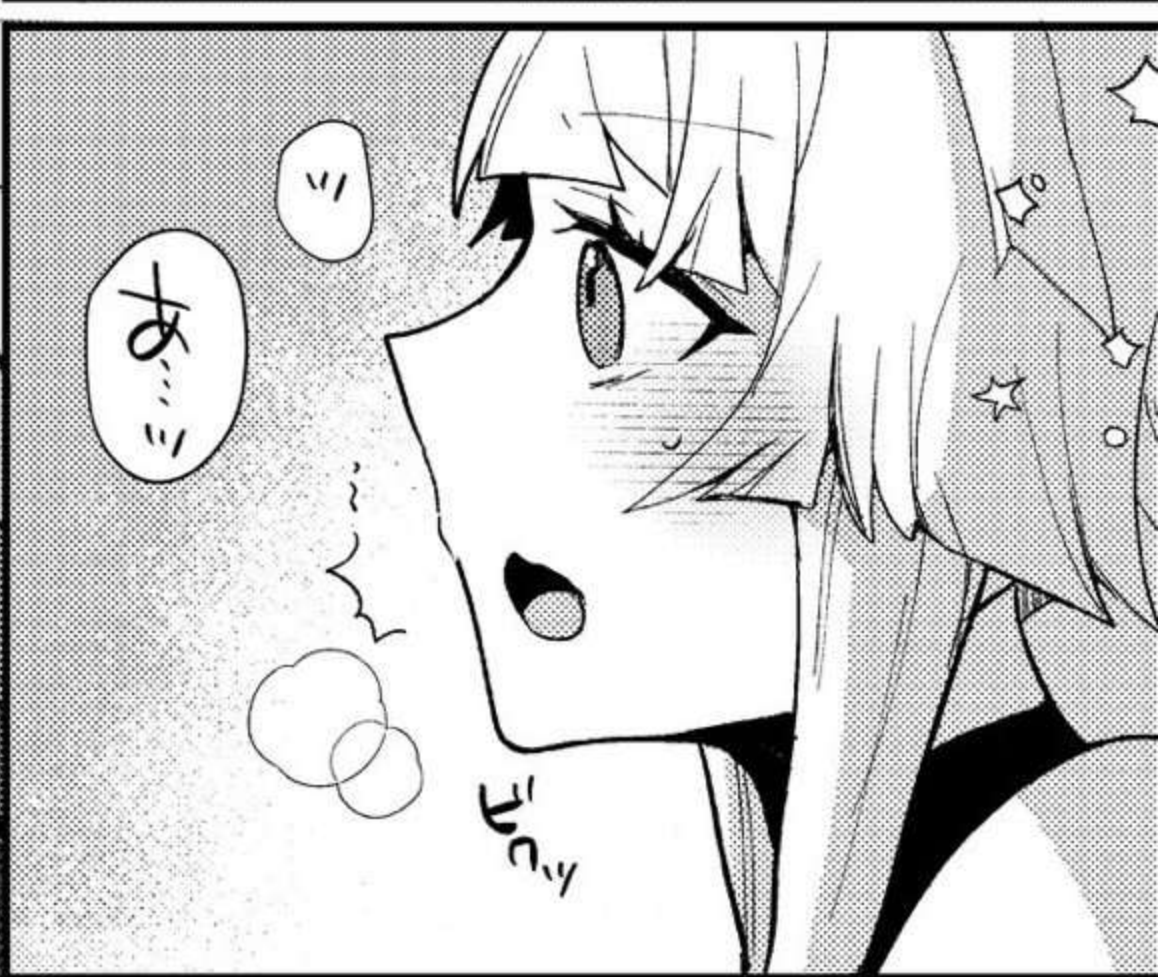
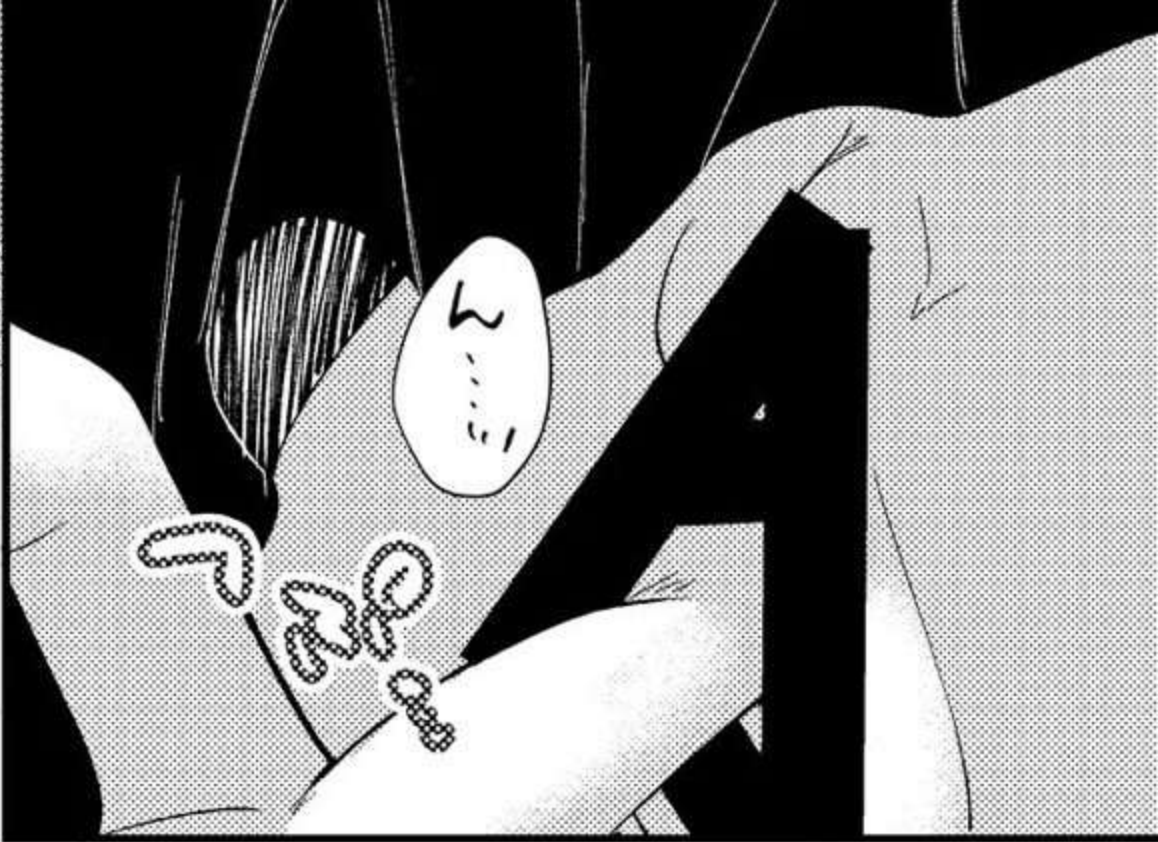
…このようか?

す…



慣らすとは  
このような…

…ツ













善意を盾に

自分の思いを  
遂げるなど…

私はなんと  
の浅ましろ  
のう

ん…ん

ん…ん

ん…ん

ん…ん

ん…ん  
ん…ん  
ん…ん



…正雪…



だから  
今だけの…

伊織殿…



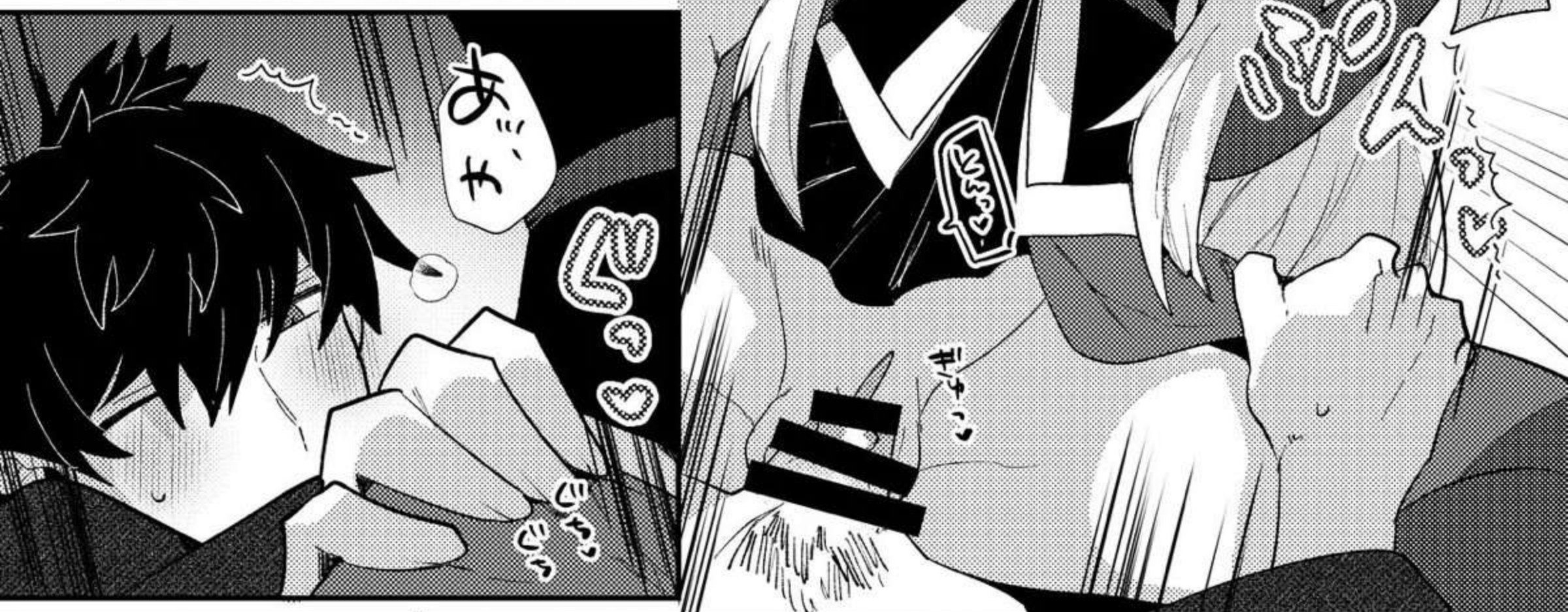
ん…ん



ん…ん

ん…ん

ん…ん  
ん…ん  
ん…ん





駄目...!  
気持ちよく  
なってしま...!

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...



奥が切なくて...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...

ははは...



俺も…  
…すまぬ



お…お…  
お…お…



ま、待って…  
伊織…!  
何か…



お…お…

お…お…

お…お…

お…お…

お…お…

お…お…

お…お…



これならば  
持ちこたえられる



良かった  
霊基は  
落ち着いたようだ



きっと我々の  
祈りを  
聞き届けて  
くださる



正雪

デウス様は  
我々をお救い  
下さる

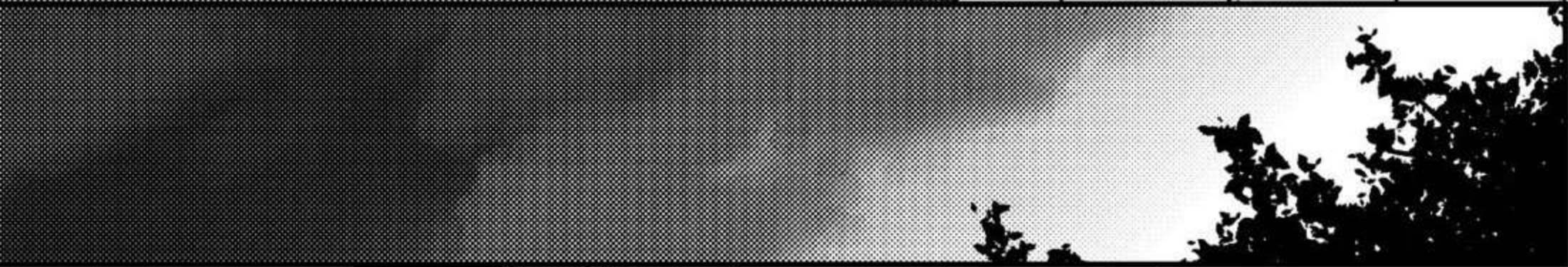


祈りなど…

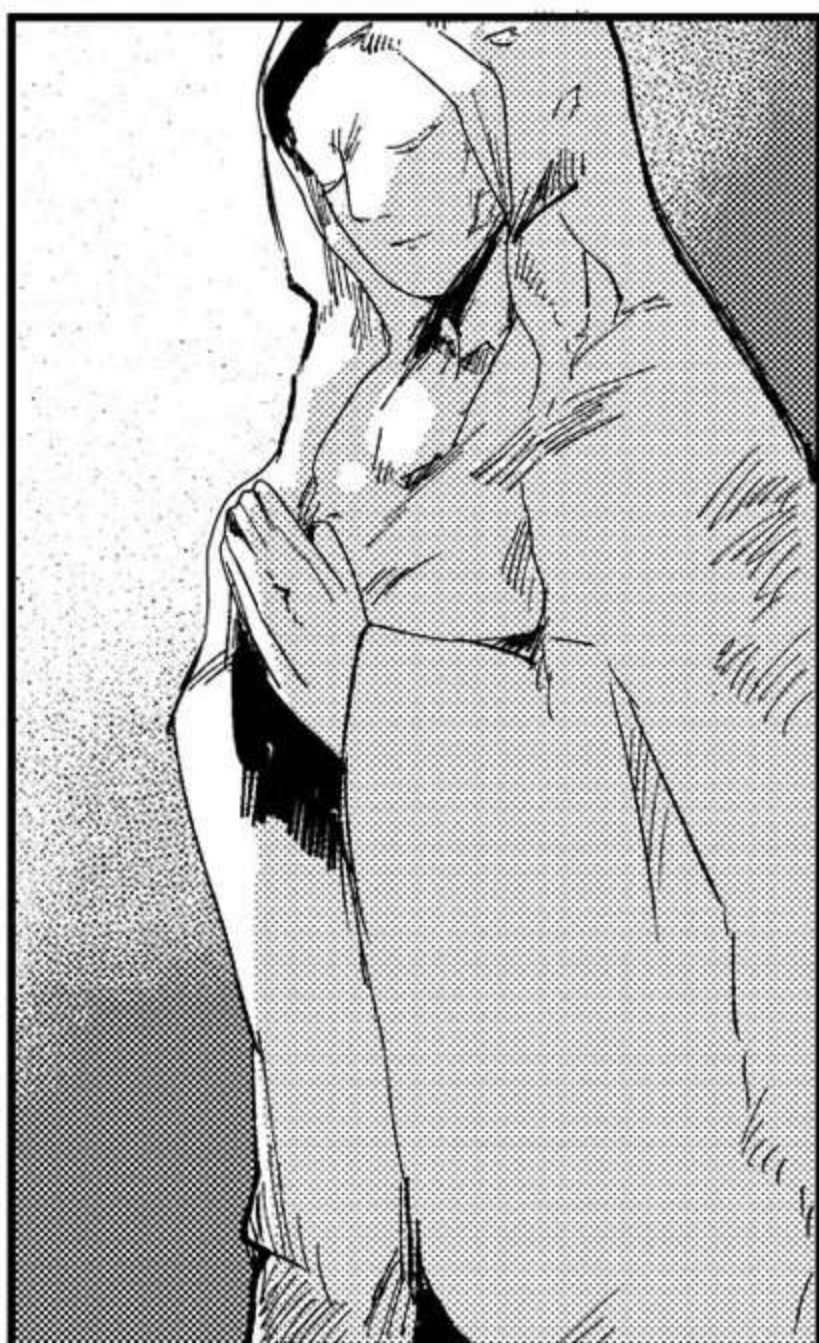
私には  
過ぎたものです  
宗意軒様…



だが：  
今は彼の  
ために  
祈りたい



……うん









良かったら  
私に  
何かあったら…



身体は  
大丈夫か？

ああ  
大丈夫だ



昨晩は  
すまなかった

…貴殿には  
助けられた



…それだけだ

私がそう  
したかった…

いいんだ…

使われていないが  
道が続いている

たどれば街まで  
つづけるかも知  
しれない

具合は  
大丈夫だろうか

問題ない

昨晩の雨で  
足跡も  
消えただろう

敵を避けつつ  
はぐれた  
マスターを  
探さねば





やはり街に  
繋がっていたか

結構  
人がいるな

マスターの  
情報が  
入ると  
良い

ガヤ  
ガヤ



そこに名前を  
書いてくれ

すまない  
部屋を  
貸して欲しい

ガバ  
5らっじゃら



まずは  
宿だな

ああ  
拠点  
作らねば



いつもは  
うちもいっばいに  
なるんだが

あんたたちは  
運が良いち部屋  
さつき一だ  
空いたんだ

それは  
良かった

この街は  
栄えているのだな

もうすぐ  
首都で祭りが  
あるからな

この街は  
中継地点だから  
旅人が多い



ふ...!?

ベッドは  
一つだが...

まあ夫婦なら  
問題ないだろう





いや、夫婦で  
問題ない

伊織殿!?



して、主人  
俺達は  
人を探している

情報を  
得るには  
どこが良い  
だろうか



下手に弁明すると  
怪しまれる

いいいや  
しかし...

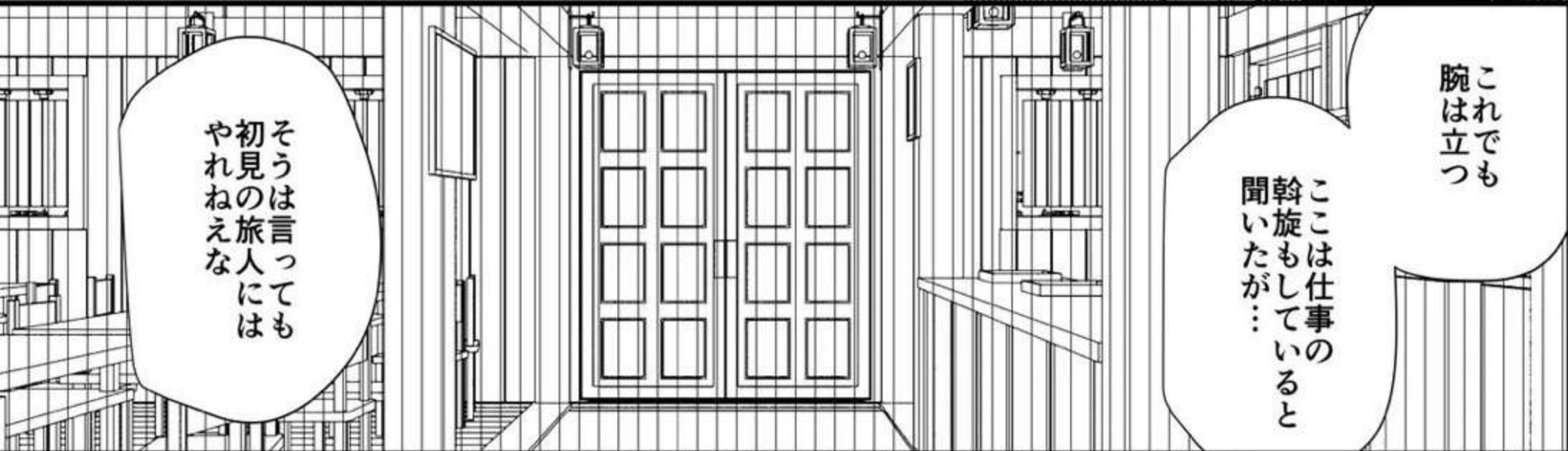


拠点も得た事だし  
次は情報を  
集めよう

いいのだろうか...

すまない  
当面は  
そういう事で  
行こう

伊織殿...  
先程のは...





いや俺も出来るもので  
工面してほしい

それにも  
彼女も腕が立つ



恩に着る

：分かったよ  
それじゃこの：



荒事など  
何でもい



4ッ



あの店主は  
貴殿に身体を  
売らせようと  
していた



私が出る  
仕事ならば…

正雪



伊織殿  
先程はなぜ  
断った





…宿の時から  
思ってたが  
治安が良くない



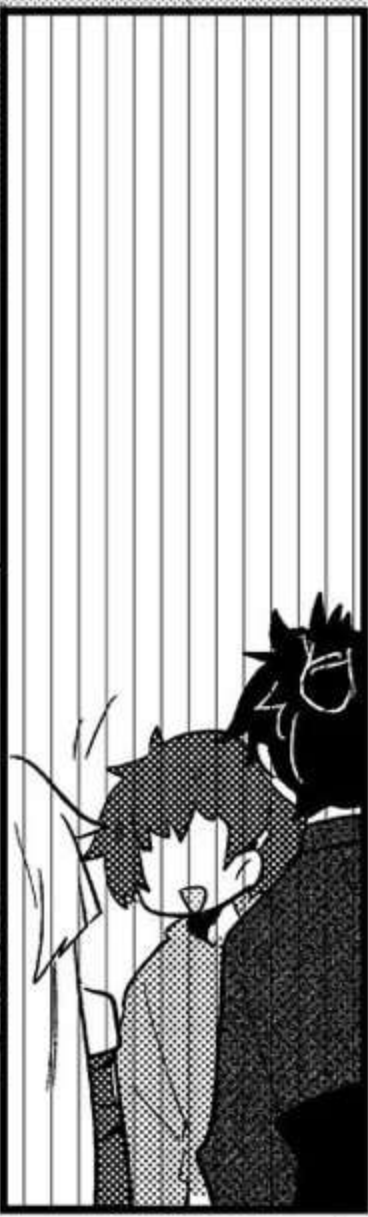
な…

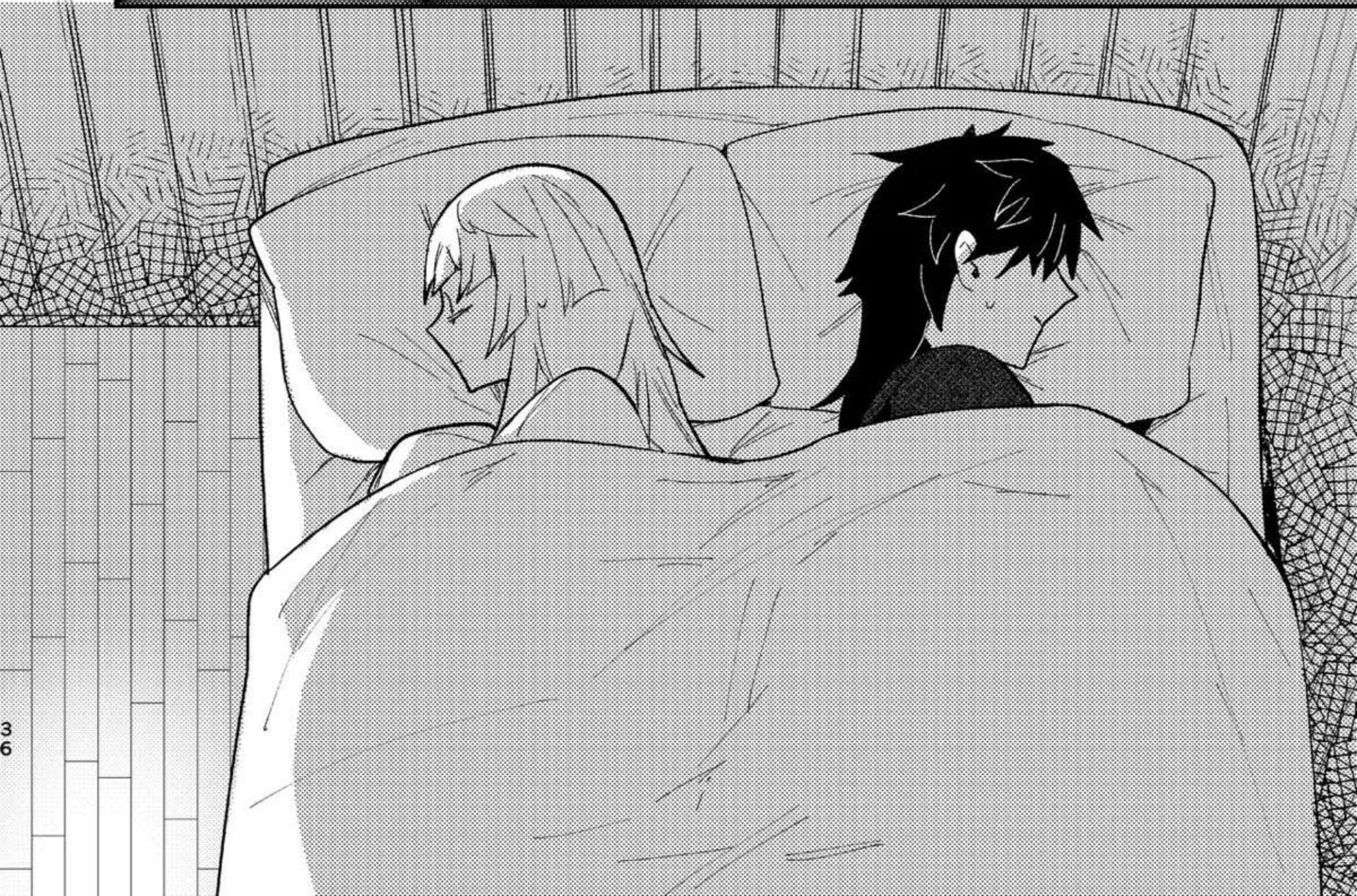


路銀が  
工面でき次第  
疾く出よう



…やはり  
寝台はひとつ  
しかないな







落ち着かないな



結局  
押し切られて  
しまった...

はあ...



すごいな...

：随分と  
壁が薄いな

あ  
あ



まあ  
目を閉じれば  
そのうち...



外で稽古でも  
するか

：はあ  
頭を冷やそう



：いかん  
昨晚の事が...



正雪を  
起こさぬよう



…っ！



は…



あ…  
伊織…殿



すまない…!!  
そんなつもりは!

ちよつと外で  
頭を冷やそうと…



あ

あ

あ



…貴殿が  
そうしたいのなら…

私は…



…伊織殿



まずは  
これは…

アタマが  
ずきずき



構わぬ…  
あなたになら…



…っ！



…俺は…



はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

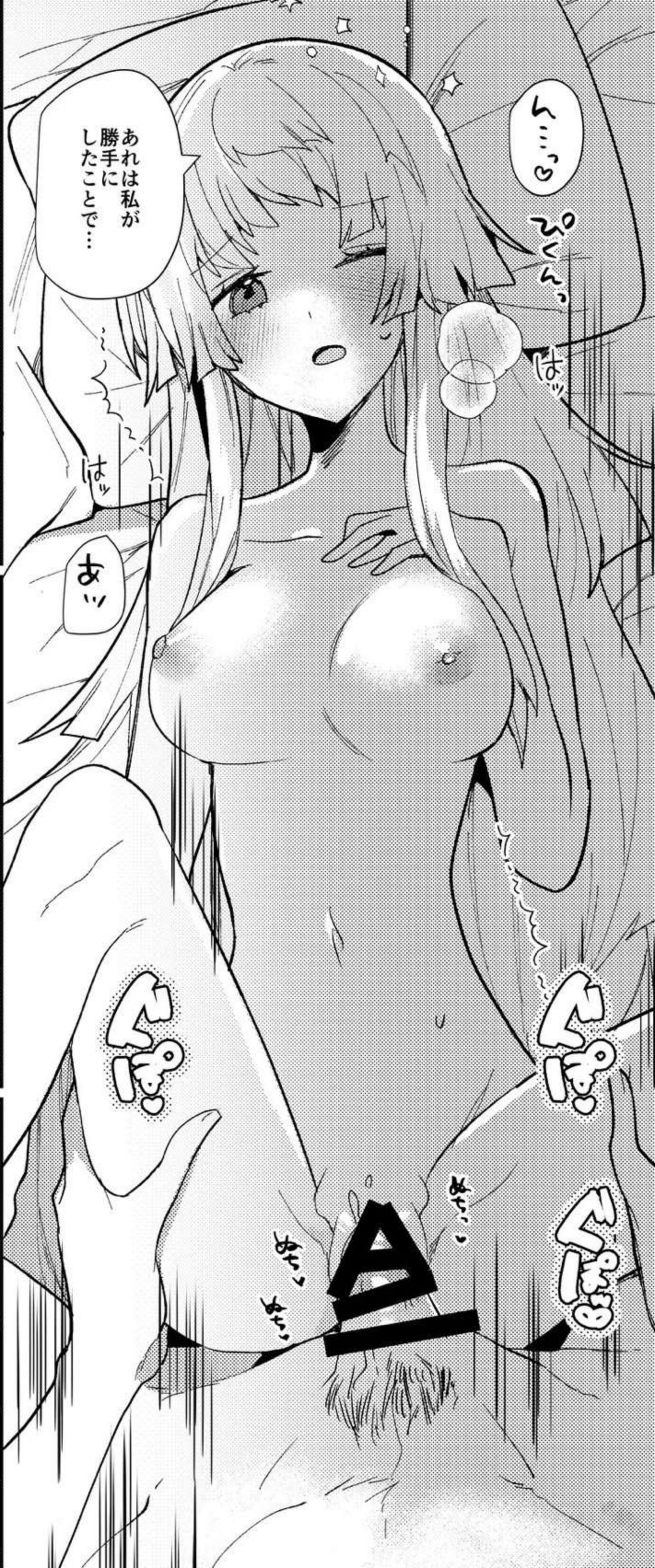
はっ

はっ

はっ

はっ





あれは私が  
勝手に  
したこと...

：昨晩の熱が  
まだ収ま  
っていない  
のか

あれは  
治療の  
ための  
行為だ  
ための





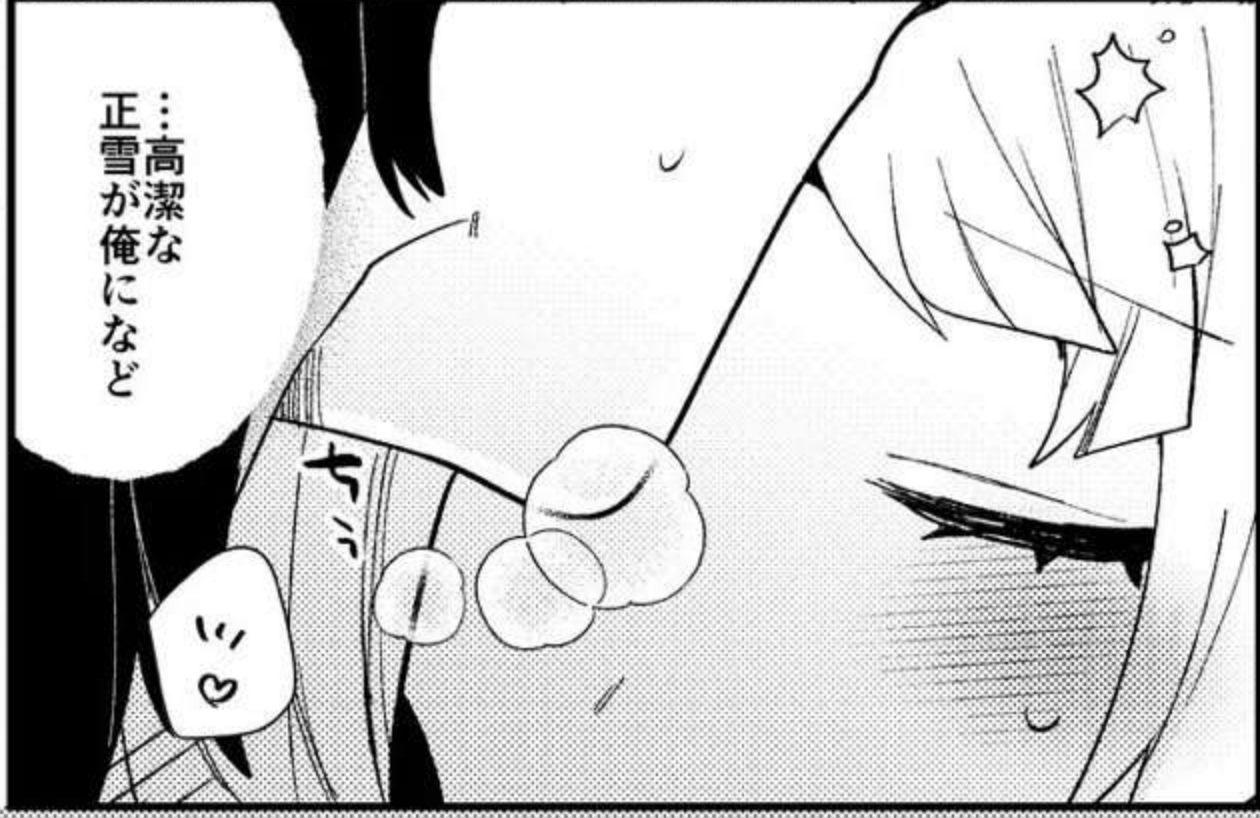
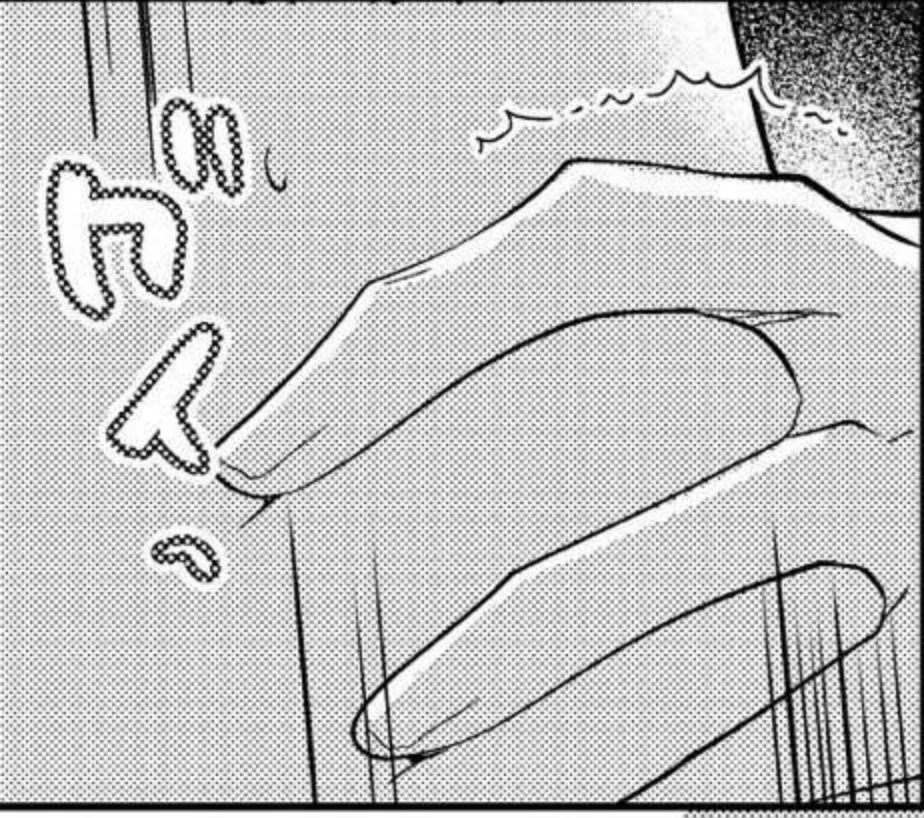
正雪に他意など  
ないだろうに

あ...

あ...

はあ

たっ



...高潔な  
正雪が俺になど

あ...



だというのに  
俺は...

あ...



今も  
俺を慮っているに  
すぎない

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...





すまない  
もう少しだけ  
付き合っ  
て欲しい

ん

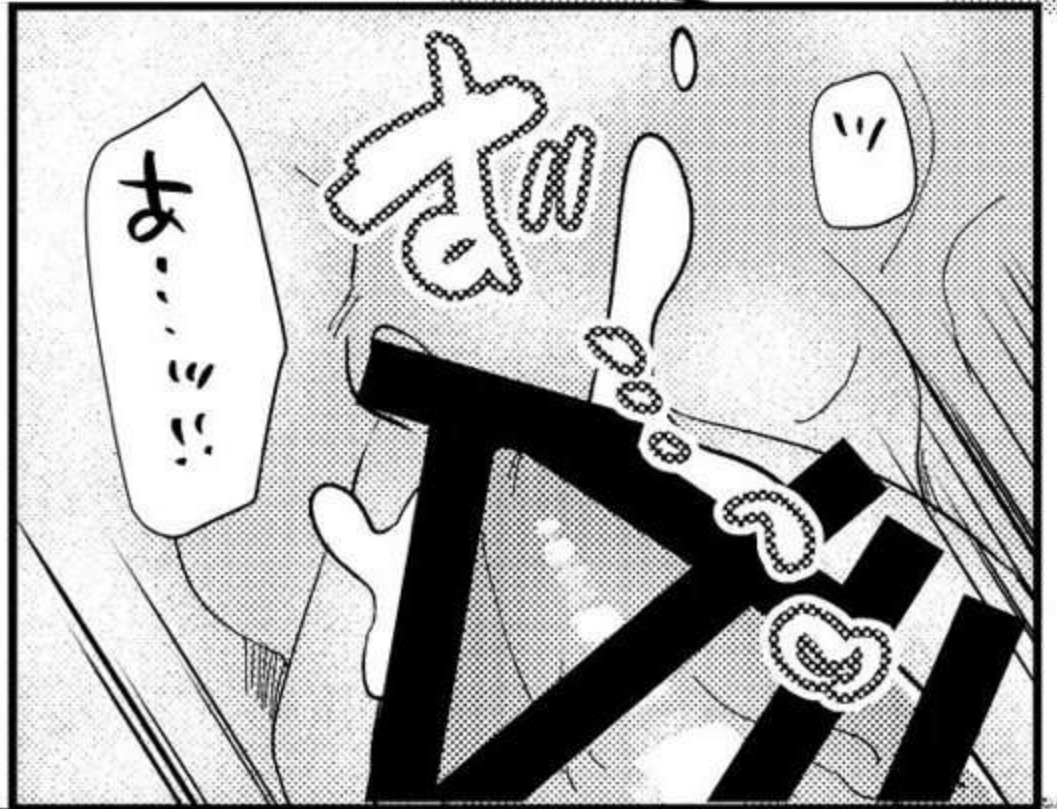
んんん

ん



待

んんん



んんん

んんん

ん



この格好では...

待って...

んんん

んんん

んんん

んんん











起きたか



ほや



気に  
しないでくれ

正雪…  
昨晚は…



…伊織

そんな事無い  
私の方こそ…!!



…俺はまた  
貴殿に…







泥棒!  
その子を  
捕まえておくれ!

!!!

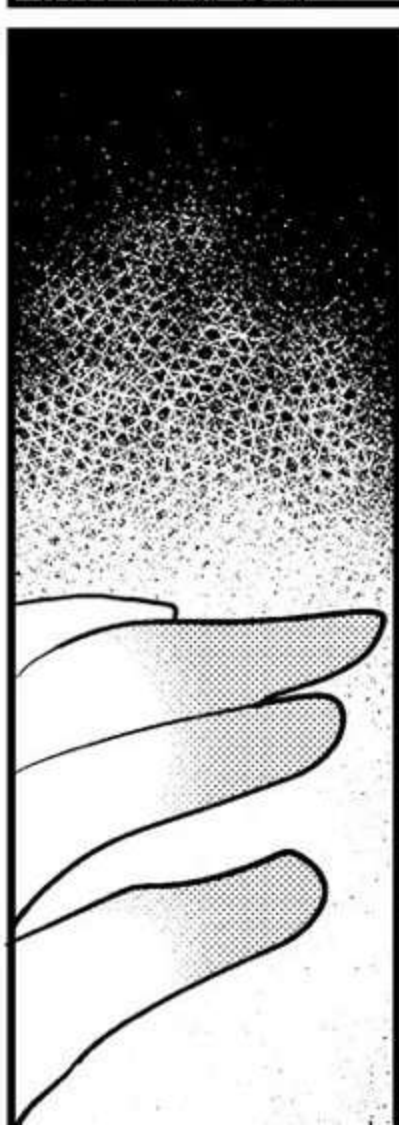
長



…全く  
正義感の強い

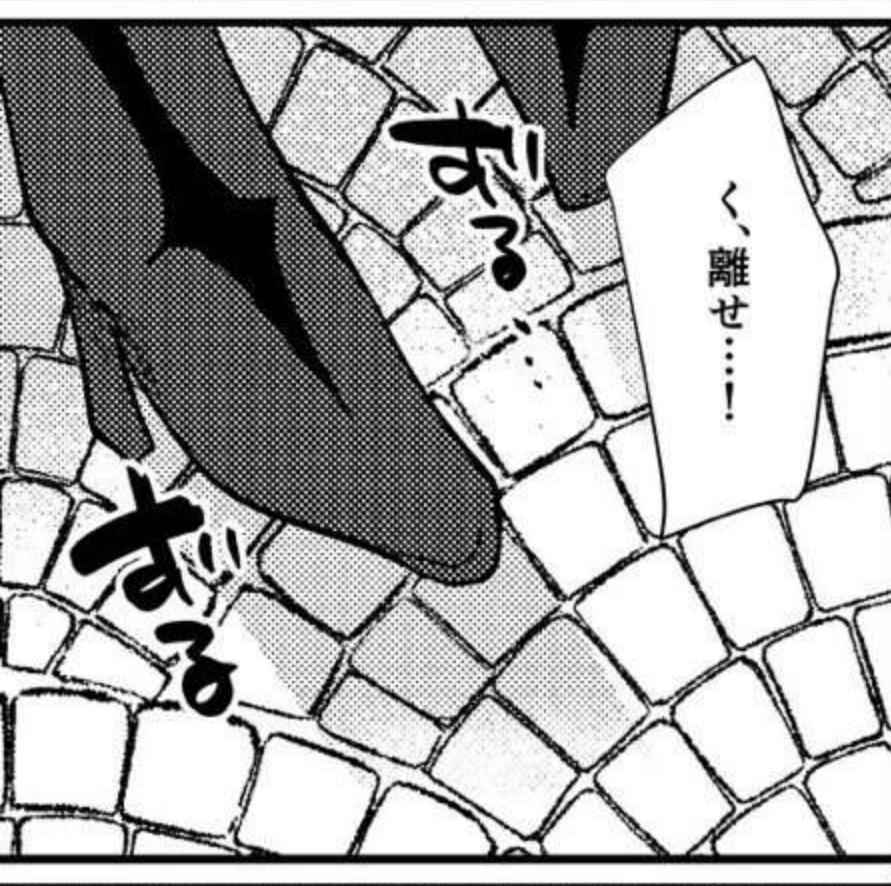


俺が追う  
正雪はそこで  
待っていてくれ



…記憶が無くても  
あなたは…

そこは生前と  
変わらぬのだな





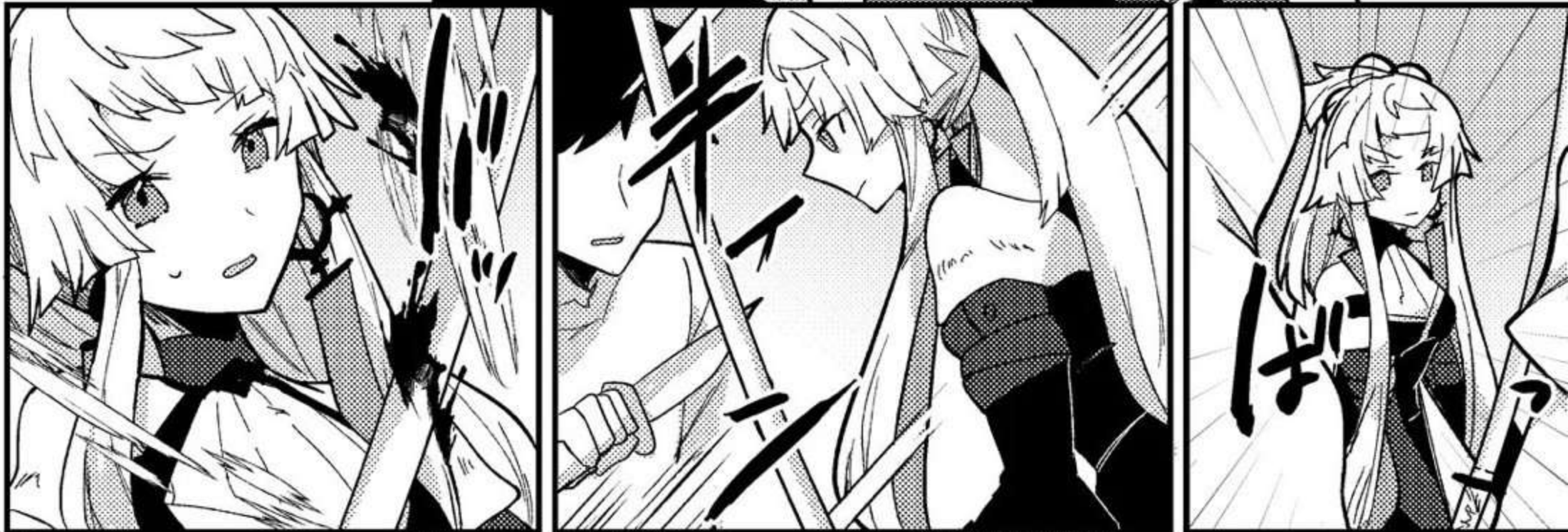
高い女だ  
高く売れるな

抵抗すると  
痛い目を見るぜ

旅人を狙った  
人攫いか

何、命までは  
取らねえよ

…卑劣な



おいおい  
女一人に  
手間取るなよ

な…!  
他にも  
居たのか…!?



しかし良い女だ  
売る前に  
味見しようぜ

何、そうしたら  
あの男も  
売っちゃまえばいい



抑えとけ

男が  
戻って来る前に  
ずらかるぞ



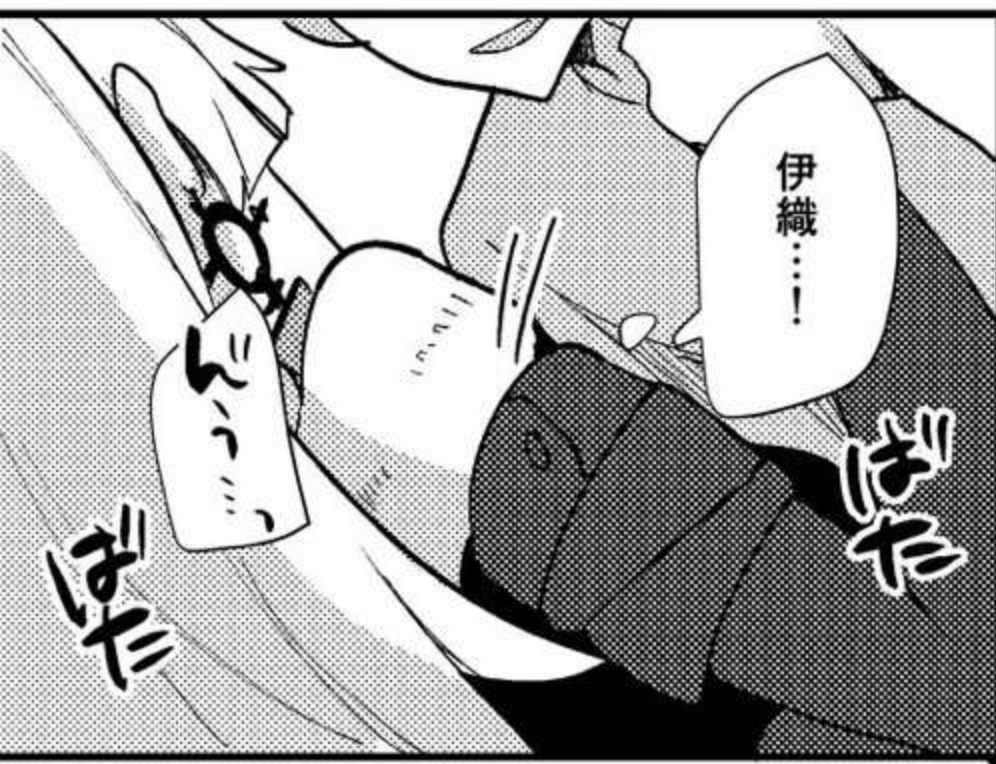
そんな...  
嫌...!



お、結構  
いい体  
してんじゃねえか

後がつかえてんだ  
さっさとしろよ

よし俺からだ



伊織...!

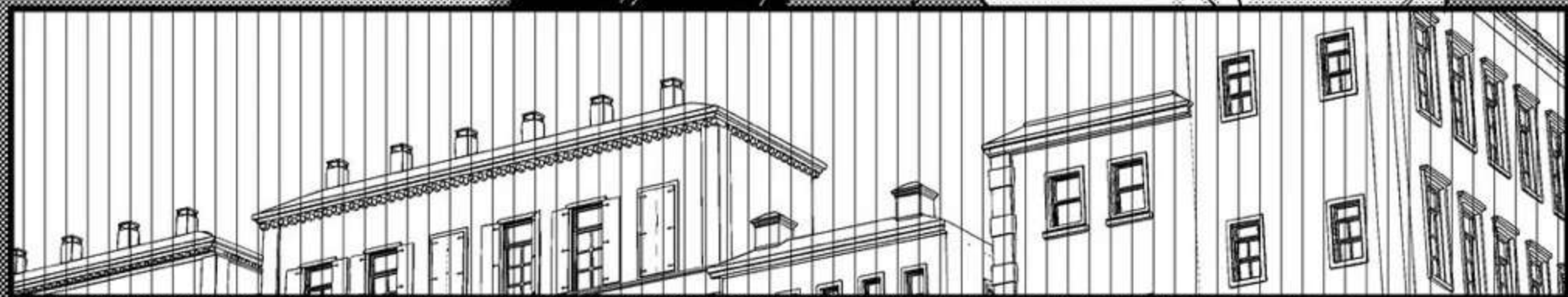














数日で  
首都には  
つけるだろう

104

104



いや、私が  
あの場で  
遅れを取って  
居なければ



すまぬ…  
俺のせいで  
このようにな…

そんな!



貴殿の足を  
引張って  
しまった

…それにまた  
返せない程の  
恩を頂いてしまった



：貴殿を辱める者は  
死んで然るべきだと



俺は恩を売った  
つもりはない

あの時は  
頭に血が上り  
夢中だった



そう  
感じただけだ

…伊織殿



：俺は生前の  
記憶はないが

きっと同じ  
事をした  
だろう

：貴殿を誰にも  
渡したくないと  
思った



…助けられてばかりと言うが

俺の方こそ力になってもらってばかりだ



そ、そそれは…！

あ、あ、あ

そいや、これはその…



清廉な貴殿に何かあってはならぬと感じた



…伊織…



…本当に無事で良かった

ギィ、ギィ



あの日…  
貴殿の命を  
救う名目で  
あつたが

私は…  
思いを  
遂げてしまった



私は…  
あなたが思うような  
女ではないのだ



浅ましく  
愚かだ



清廉などでは  
ないのだ



…いや



…幻滅した  
だろう？



…あの時  
あなたを  
思っていた

ただ何も  
出来ずに…



あの時の恐怖が  
まだ残っている…

…伊織  
頼みがある



あなたで  
塗りつぶして  
欲しい…

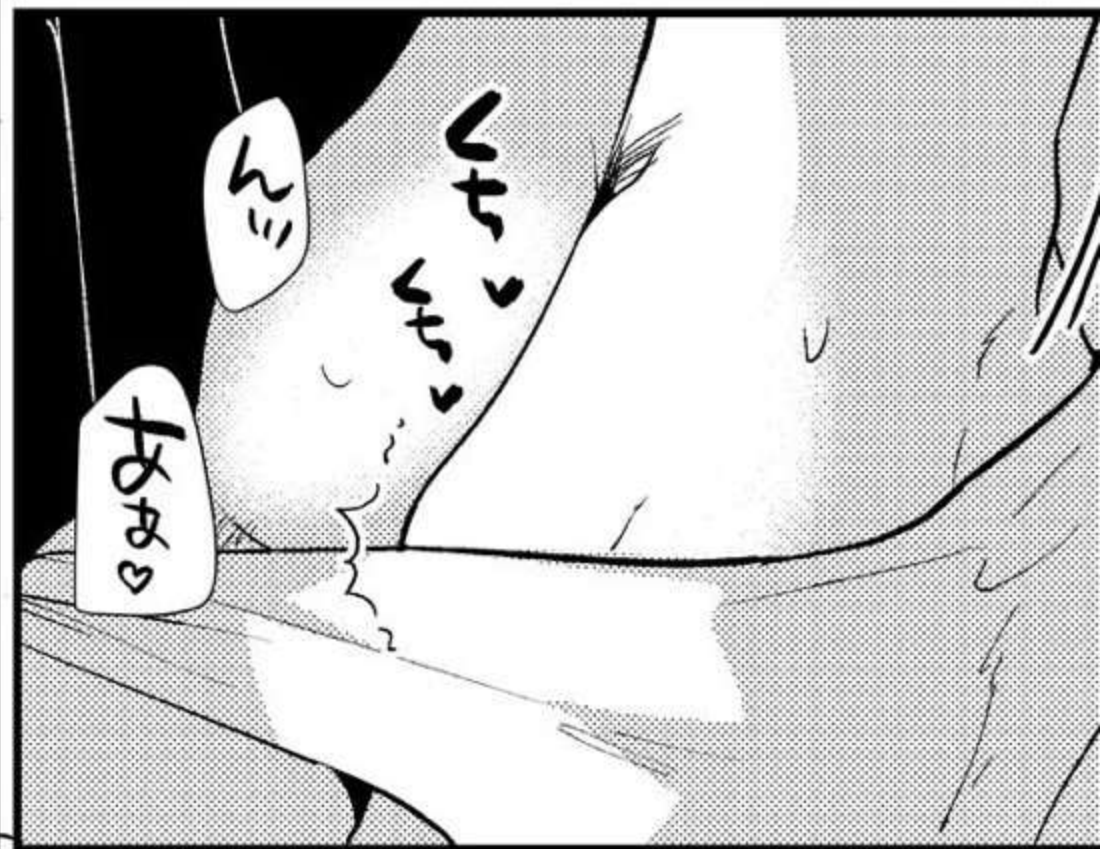


髪でも  
手でも  
胎でも

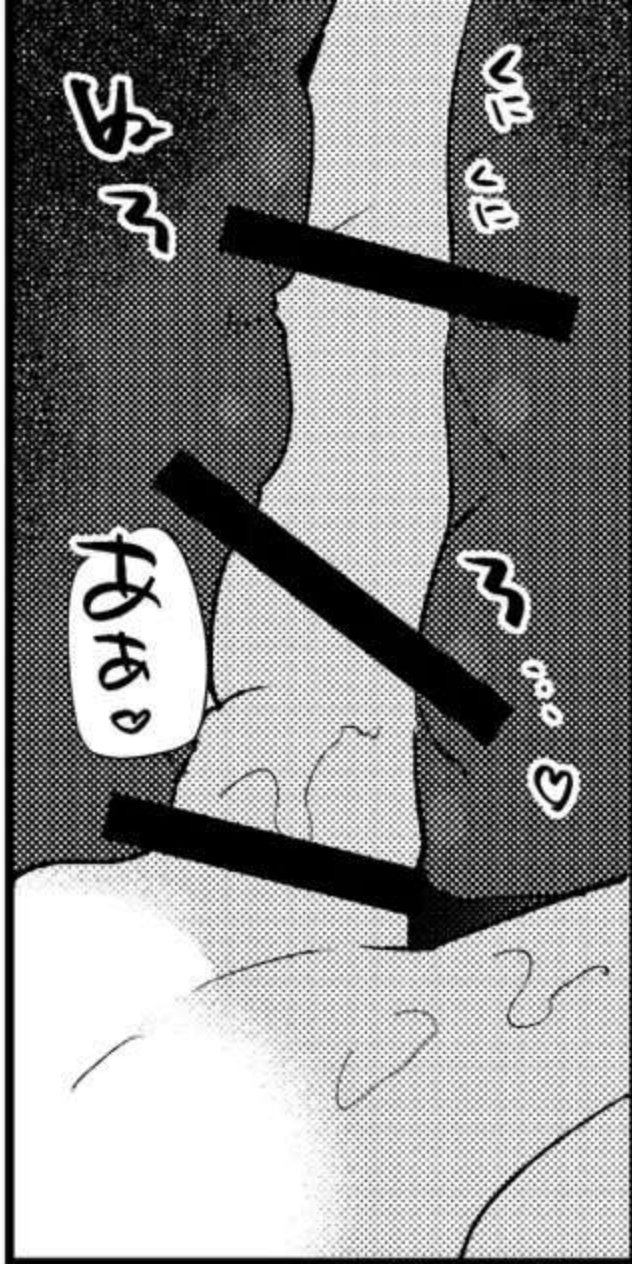


どこに  
触れて欲しい？









声は  
良い  
我慢  
しな  
く  
て

正雪

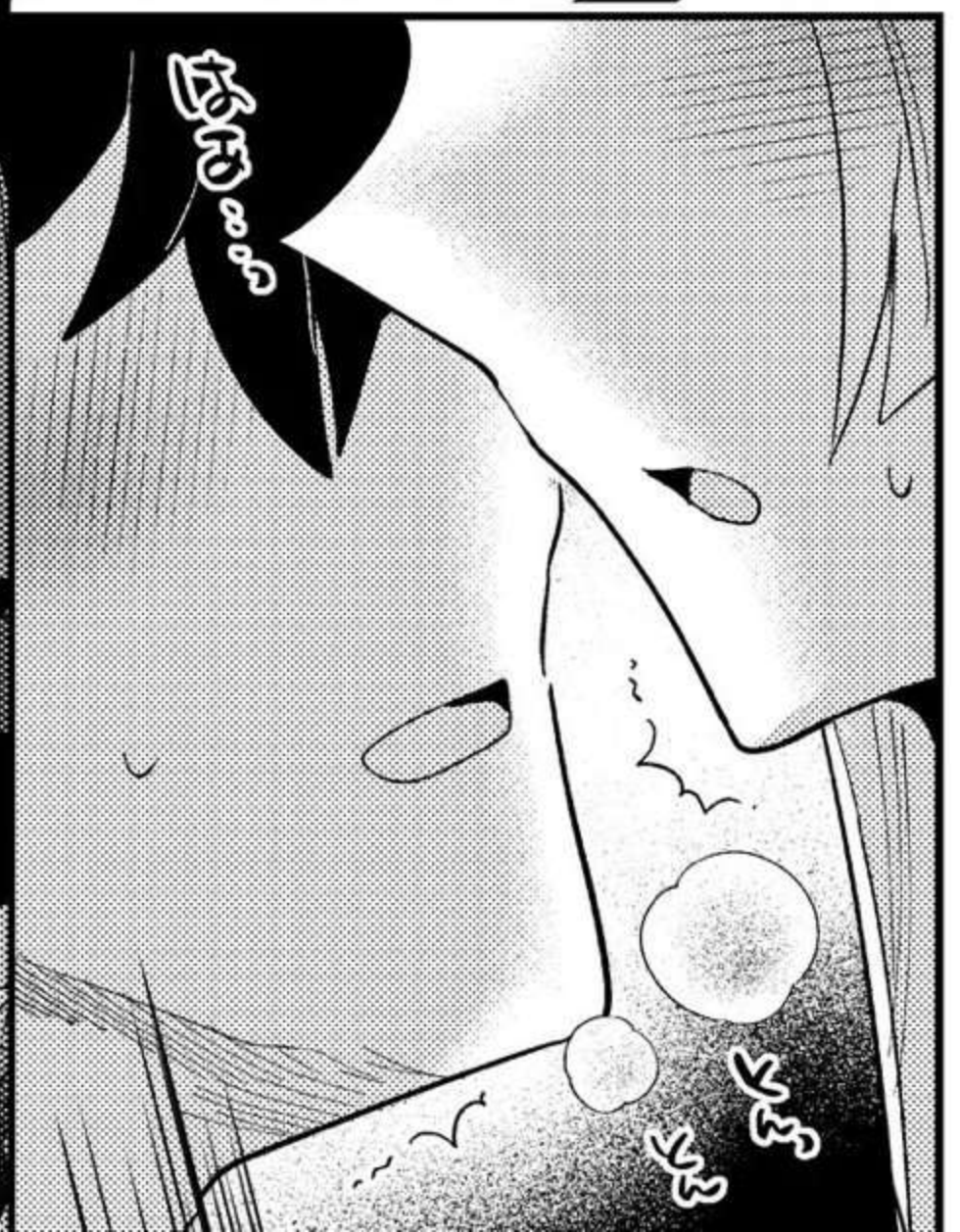
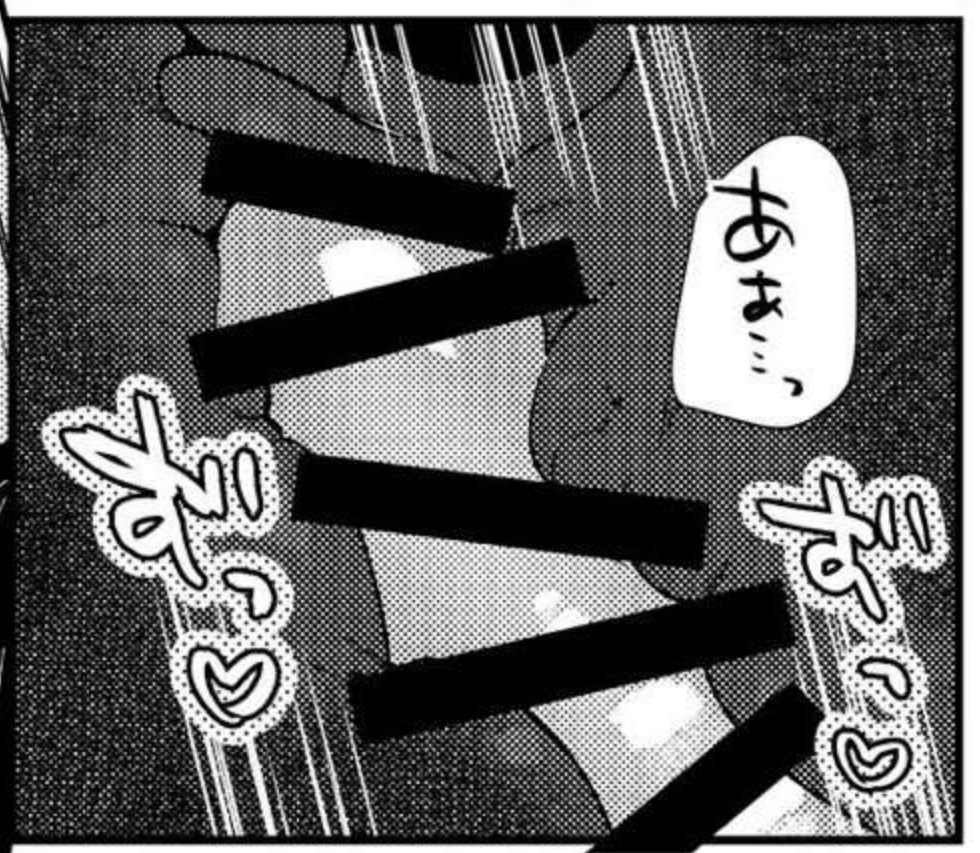


どう  
せ  
誰  
も  
居  
ら  
ぬ

し  
か  
し  
…  
ッ

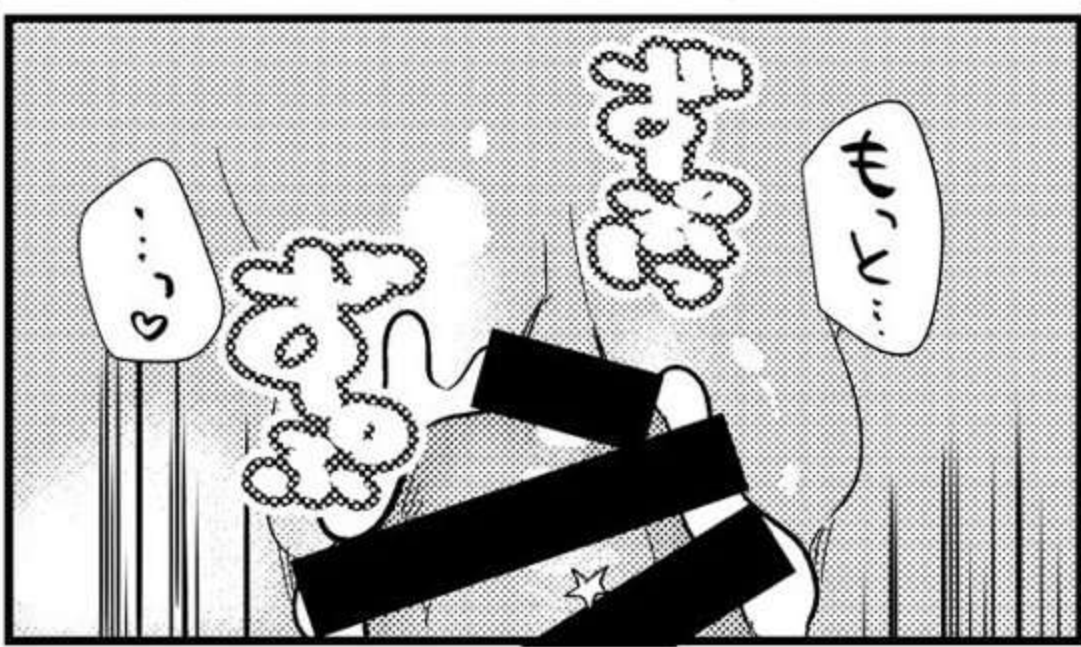
…  
ま  
…

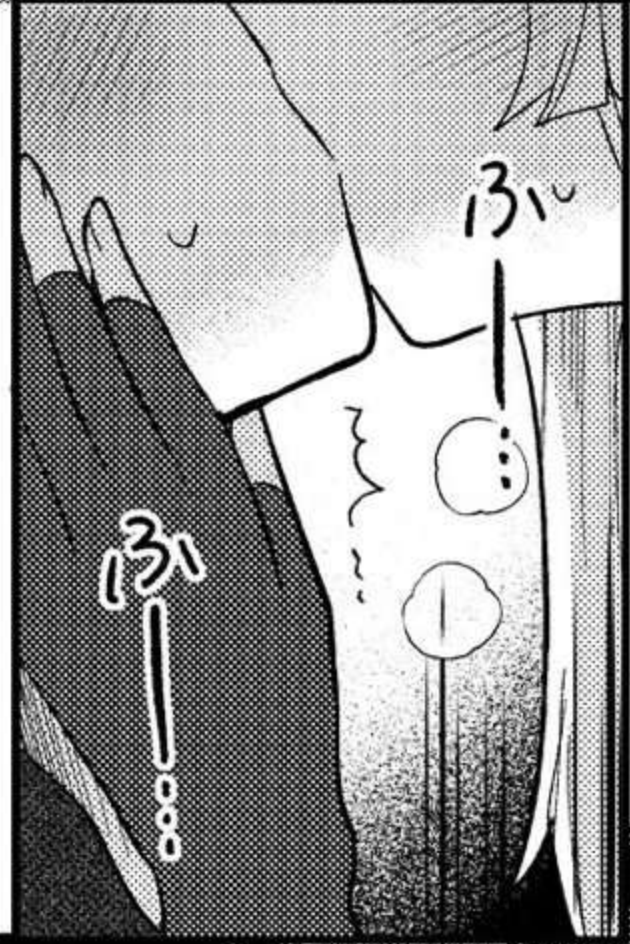






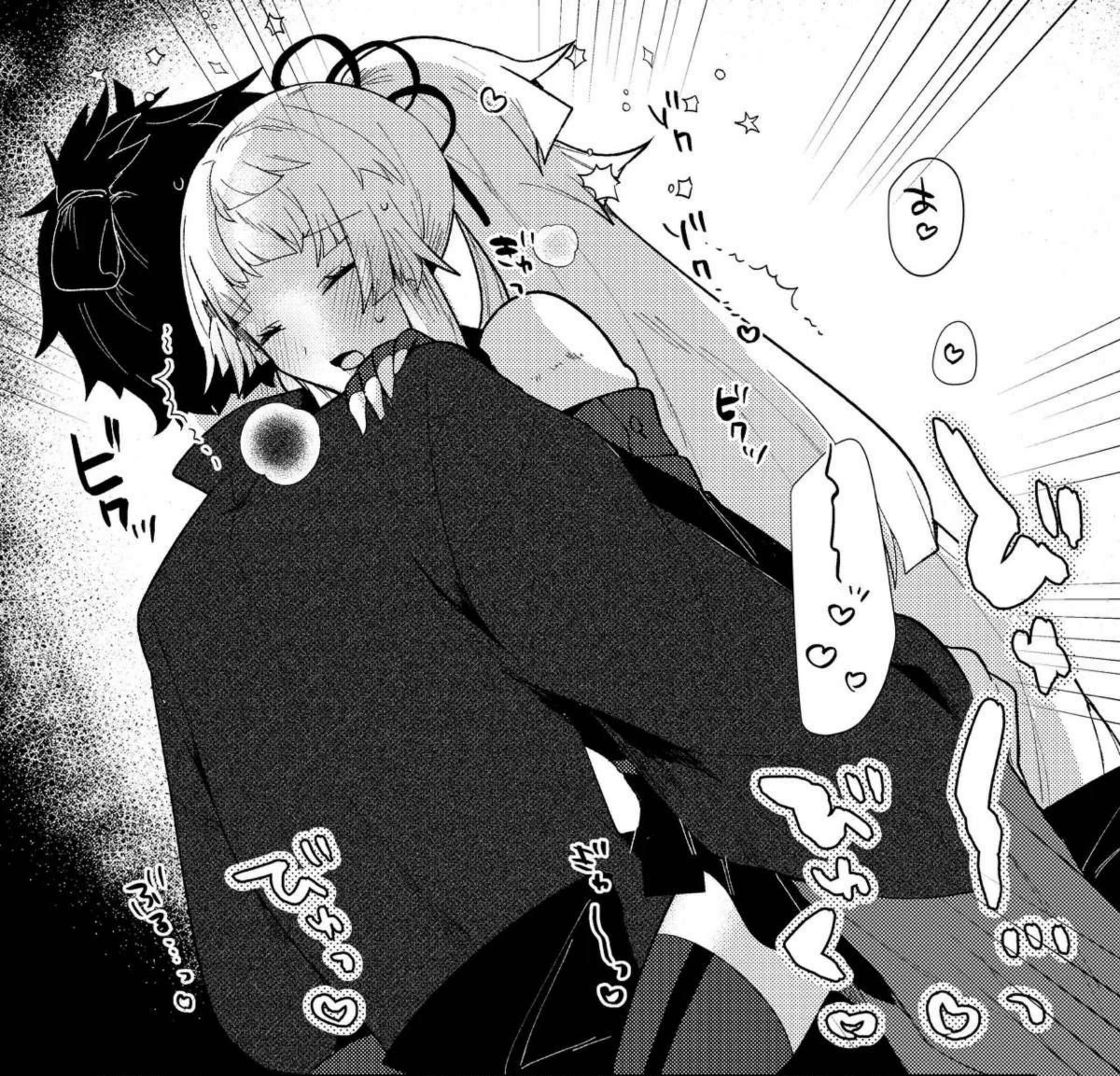






正雪...  
出すぞ...

760







…よく寝ている



弱：初めて  
聞いたな

生前の俺にも  
打ち明けて  
くれたのだろうか



強い人だ

：俺こそ  
助けられて  
ばかりだ



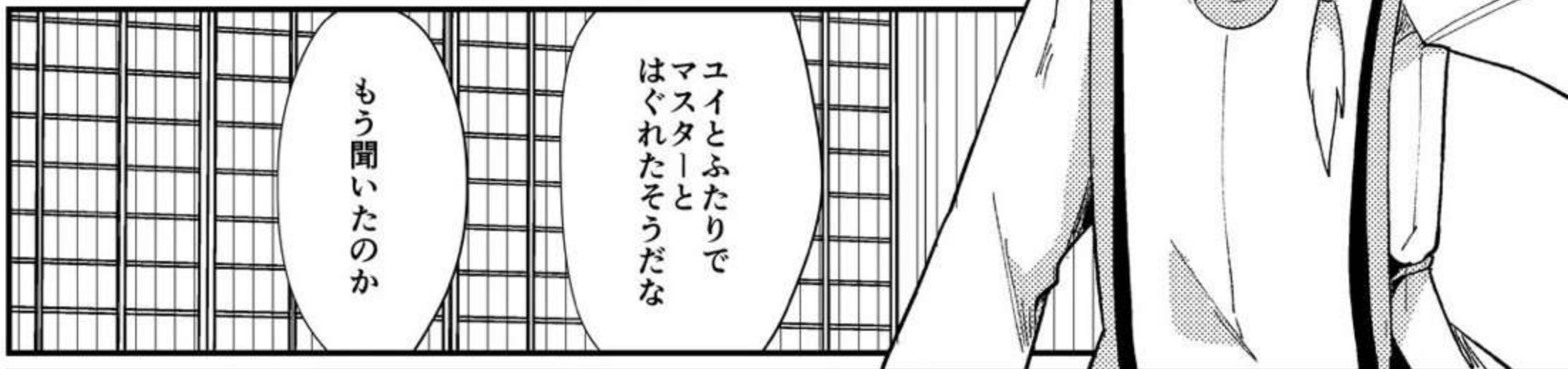
：もっと  
強くならねば





イオリ!  
先の特異点は  
どうだった?

セイバー



ユイとふたりで  
マスターと  
はぐれたそうだな

もう聞いたのか



ユイに迷惑を  
かけてない  
だろうな

出来る限り  
頑張った方だが



マスターとは  
割とすぐに  
合流出来たぞ

まあその後  
色々  
あったんだが...

最後には無事に  
解決が出来た

それは良かった!

よかったー

伊織  
の  
声



見たこと無い  
像だ

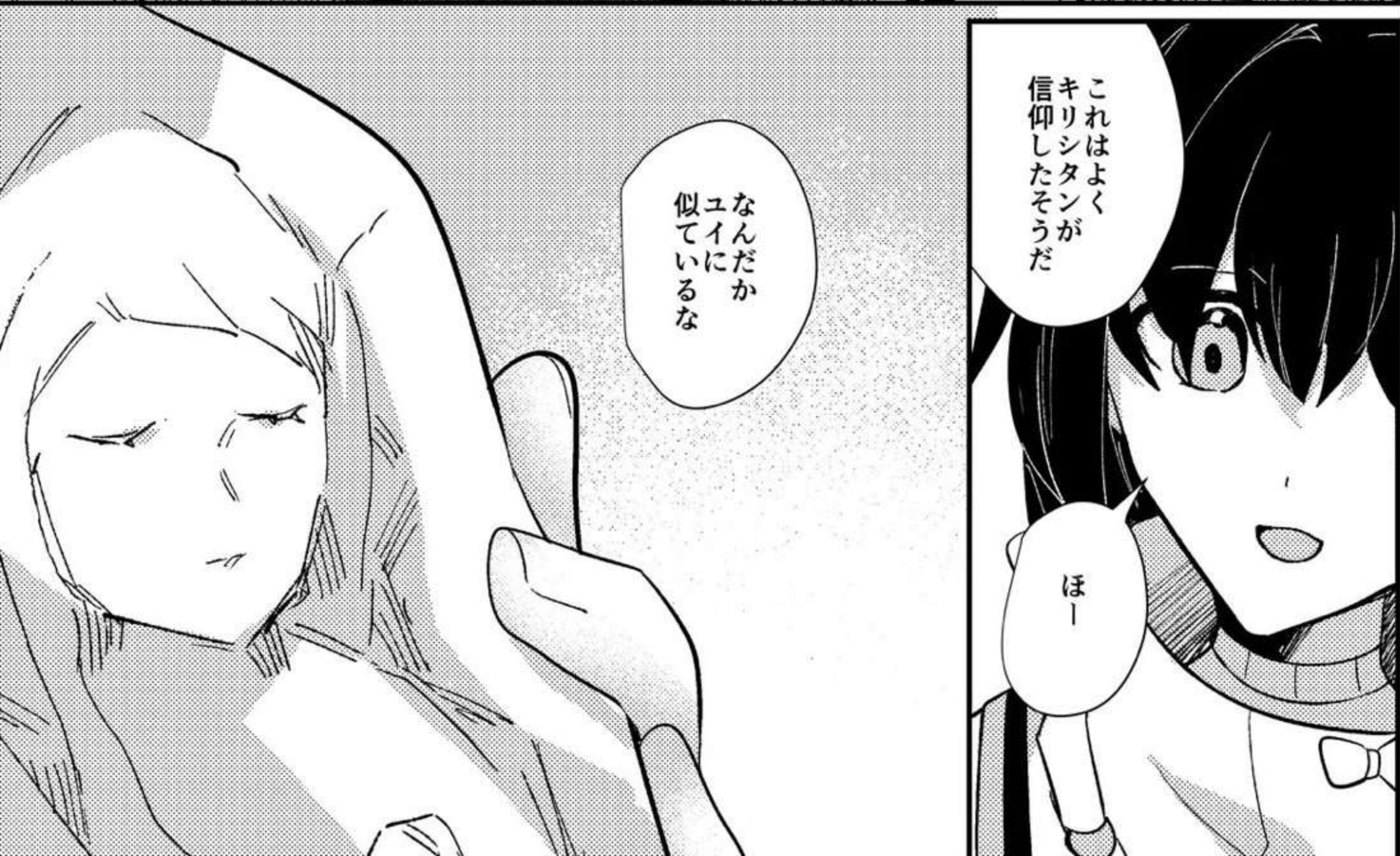
ああ  
慈母観音だ

ところで  
また仏像を  
彫っているのか



女性の  
ホトケも  
いるのだな

観音は  
様々な者  
がいるからな



なんだか  
ユイに  
似ているな

これはよく  
キリシタンが  
信仰したそう  
だ

ほー



…そう、かもな



な…  
そんな顔だ  
それは

君、いい顔を  
するようにな  
ったな



エミヤが新作に  
菓子を  
焼いたのだ!

これからユイも  
誘って食べるから  
イオリも来い!



ところで  
何か用事か  
あったのではないか

おお  
そうだった!



先に食堂で  
待ってるぞ!

ああ  
すぐ行く

[ 月落ち鳥鳴いて霜天に満つ ]

2024/10/27発行  
chimere/marie : ウゲツ

連絡先 : [chimeremarie@gmail.com](mailto:chimeremarie@gmail.com)

Twitter : [chimere\\_marie](#)  
Pixiv : [2230408](#)

印刷 : 金沢印刷

無断転載または動画を含む  
WEBでのアップロードはおやめください。